

事業番号	30
------	----

平成30年度 事務事業評価シート(実施計画事業 **経常事業**)

事業の概要	事務事業名	その他の河川水路整備事業						担当部	都市建設部		
	会計区分	一般会計						担当課	河川課		
	事業期間	平成12年度以前		~	平成31年度以降		担当係	河川係			
	基本施策・展開方向	6	都市基盤		26	河川・水路		1	浸水区域を解消します。		
	予算区分	款	8	項	3	目	3	大	3	中	20
	根拠法令・個別計画										
	目的	何・誰を対象に	経年による老朽化等により排水施設が排水不良を起こしている地域もしくは起こす恐れのある地域								
		どの様な状態にするのか	河川水路の整備を実施することで、河川水路の良好な排水状態を維持し、雨水を速やかに流下させることにより、家屋等の浸水被害の軽減を図る。								
内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆平成29年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円滑な雨水排水を行うための測量設計、水路改修工事を実施した。 <p>◆平成29年度直接経費の内訳</p> <p>【委託業務】 測量、用地調査、詳細設計等の業務委託 8件(委託料: 12,669千円)</p> <p>【工事請負】 水路改修工事 16路線 L=853m(工事費:67,961千円)</p> <p>【合計:80,630千円】</p> <p>◆平成30年度直接経費の内訳</p> <p>【委託業務】 測量、用地調査、詳細設計等の業務委託 6件(委託料: 11,600千円)</p> <p>【工事請負】 水路改修工事 11路線 L=1,121m(工事費:93,000千円)</p> <p>【補償・補填、賠償金】物件移転補償(水道、ガス)(3,000千円) 損失補償費(500千円)(計3,500千円)</p> <p>【合計:108,100千円】</p>										
受益者負担	無										

		単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29決算額	H30予算額		
事業費	費用	直接経費	千円	86,439	80,484	119,048	80,630	108,100	
		正職員	従事者数	人	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28
			人件費	千円	2,096	2,096	2,096	2,096	2,096
		その他職員	従事者数	人	0	0	0	0	0
			人件費	千円	0	0	0	0	0
	費用合計		千円	88,535	82,580	121,144	82,726	110,196	
対前年比		%	—	93.2	146.6	68.2	133.2		
財源	一般財源	千円	88,535	82,580	121,144	82,726	110,196		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0	0		

業	成果指標名	単位		H26	H27	H28	H29	H30
	整備路線数	路線	目標	14	11	12	15	11
			実績	19	16	13	16	
			目標					
			実績					
	活動指標名	単位		H26	H27	H28	H29	H30
	整備路線数	路線	目標	14	11	12	15	11
			実績	19	16	15	16	
		目標						
		実績						

事業の評価	平成29年度	事業の達成状況	当初の整備予定箇所15路線に加え、緊急対応による実施1ヶ所の合計16ヶ所の改修工事を実施した。なお、一部の工事については、債務負担行為を設定することで早期発注を行い、工事費の縮減を図っている。							
	平成29年度	事業実施における課題	老朽化の著しいものや区長申請等を通じて要望のある河川水路について、良好な排水状態を維持するため改修工事を実施する。しかしながら、昨年7月14日などの豪雨により、排水能力の向上を要望されることが増えており、整備手法を慎重に検討する必要がある。							
	平成30年度	30年度における実施内容や結果見込み	平成30年度において、測量、用地調査、詳細設計等は業務委託を8件、水路改修工事は11路線を行い、又、その工事に伴う物件移転補償（水道、ガス）を実施する予定である。なお、工事については、債務負担行為の設定などで早期発注を行い、工事費の縮減を図っている。							
	平成31年度以降	事業の方向性	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの						
		削減額・削減対象	事務事業評価による額	643	千円	予算区分	15	節	節	
		判定理由・削減内容	区長申請等で老朽化により改修を求められている河川水路について、整備手法の検討や改修スケジュールの見直しなど行うことにより、15節 工事請負費から643千円の削減に努める。							
	平成31年度以降	31年度以降の実施内容	降雨による浸水被害を軽減及び河川水路の良好な排水状態を維持するために、整備は継続する必要がある。改修要望のある路線については、引き続き慎重に状況調査を実施し、整備箇所決定を行う。							